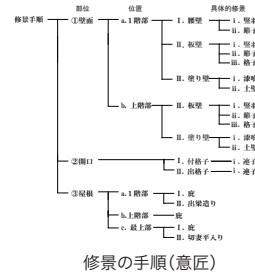


中津川市本町中山道地区のまちづくり実践

←四ツ目川



東側・南側立面



←中津川



建物ファサードの修景(2009年)

住民の修景への関心を高めることを目的とし、中津川市の景観計画の修景基準をもとに82軒の建物ファサードの修景案を作成した。意匠修景に関しては、建物部位に関して①壁面②開口③屋根に分け、さらに位置に関してa.1階部 b.上階部 c.最上部と分けた。最後にそれらに対し具体的な修景方法を提示した。次に、建物を種別分類し、修景の手順に基づき具体的な修景内容を決定した。



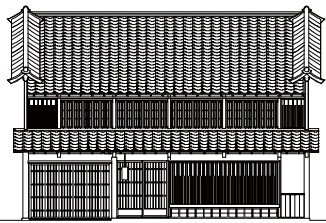
中津川市本町中山道地区街路写真

時期	内容
2006年	景観重点地区を対象とした景観特性調査
2007年	中津川市景観計画の策定
2008年	本町中山道景観協議会 発足 (協議会発足1年目) 実践のための基礎的調査 協議会の方針の決定
2009年	協議会総会(前年度の活動報告) 建物ファサードの修景 対象地区全軒の修景イメージ図の作成 5軒の詳細建物修景案の作成 白木屋の改修
2010年	協議会総会(前年度の活動報告) 協議会発足3年目 街路空間の整備方針の決定 将来像の作成 街路空間の修景 公共整備実施ワークショップ 親水空間の実践案

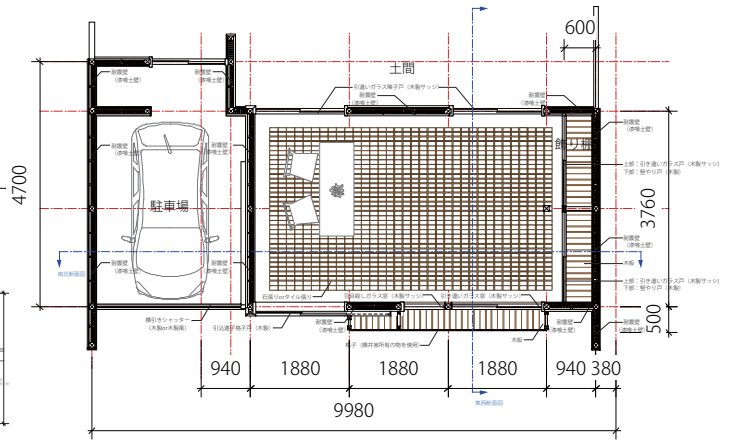
中津川市本町中山道地区まちづくり年表



白木屋東立面外観写真(修景後)



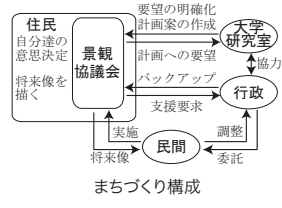
白木屋最終改修後東立面図



白木屋最終改修後1階平面図(改修部分)

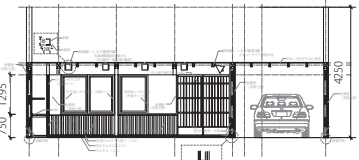
中津川市本町中山道地区について

本町中山道地区はかつて中山道の中津川宿として栄え、現在でも往時の環境をしのぼせる地区である。特性としては、道路形状、一部開渠の水路、案内板、江戸時代の建物など伝統環境が残っている一方で、新しい形態の建物も増えてきている。
2005年に中津川市が景観行政団体となったのを機に、2006年には景観計画策定のための資料作成を行った。具体的には、景観重点地区を対象とした景観特性調査を行った。2007年には景観計画が策定され、2008年には住民組織である「本町中山道景観協議会」が発足し、まちづくり実践のための基礎的調査を行った。2009年には建物ファサードなどの私的部門の修景案を作成し、2010年には街路空間などの公的部門の整備方針を作成した。
本町中山道地区におけるまちづくりの特徴としては、住民・大学・行政・産業の4つの団体が連携し、まちづくり実践を行っているところである。



白木屋の改修(2009年)

本町中山道地区に存在し、1842年(江戸時代)に建築された白木屋を中山道によりふさわしいコミュニティー施設に改修することを目的とし、住民らの意見を基に実施図面を作成した。
施主と協議会を交えた計4回のインタビュー調査を行い、改修案を作成した。また、作成した改修案を基に、担当建築事務所との協議の結果、予算面でも使い勝手による調整変更が行われ、多くの関係者の協力のもとに白木屋は竣工を迎えた。
現在は、本町中山道地区住民及び近隣住民の集いの場として、またこの地区を訪れた観光客の無料休憩所として利用されている。



白木屋最終改修後南北断面詳細図